

開人会通信

Vol.46 / 2019年2月発行

プランニング開

仙台市青葉区北山1-5-22 TEL/FAX022-276-8840

URL <http://p-kai.com>

e-mail kai2@alpha.ocn.ne.jp



絵のタイトル『はじまりはあさやけ』

2018年12月23日(日)、24日(月)

こじゅうろうキッズランドの情報はこちらから ● URL: <https://www.sunpark.jp/kidsland>

荒井良二さん ライブペインティング

白石市 こじゅうろうキッズランド

さて、真っ白で大きな壁に一体どんな作品が出来上がるのか? 描き始めた荒井さんは、素手で絵の具をつかみ取る様にして、壁に描いていきます。チューブから絞り出されたばかりの絵の具は単色ですが、荒井さんが描きはじめると、独特の色づかいで、重厚でファンタジックな世界が広がっていきます。まさに荒井良二ワールド。ライブペインティングと聞いて、プロの絵本作家の方とはいえ、人が絵を描いている姿が果たしてイベントとして成立するものなのか?と皆さんは思うかもしれません、時間が忘れて見入ってしまうほど、実に面白いものでした。

絵が完成したのは2日目の19時を回る頃、帰りの新幹線の時間を遅らせながら描き続けての完成となりました。作品は2作品連作で一つ目のタイトルは『はじまりはあさやけ』。絵は物語のようになっており、左から順に「夜明け」「目覚め」そして、「幕開け」と移り、1日のパレードが始まります。もう一つは『ゆうやけにとびこんだらきょういちにちがわははとわらつてくれた』でこちらは「夕暮れ」の幕の中に帰っていく様子が描かれています。

目の当たりにするとドキドキが止まらないような作品を見に、是非一度、ご来場ください。



ライブペインティングに圧倒されるお客様



ライブペインティング中の荒井良二さん

年の瀬も押し迫った、12月23日・24日の2日間。白石市にある「こじゅうろうキッズランド」で、絵本作家・荒井良二さんによるライブペインティングが開催されました。キャンバスになるのは館内の休憩スペースでもある「わいわいサロン」の大きな壁面。当日は遠方、新潟や茨城から駆けつけてくれたファンの方もいらっしゃいました。



たにぞう けっさくくんと行く

2018年12月27日(木)～31日(月)

バリ島
インドネシア・バリ島



12月27日から大晦日まで、たにぞう・
けっさくくんと行くバリ島の旅に行つて
きました。たにぞうさんはNHKの「お
かあさんといっしょ」の体操、ブンバ・
ボーンを作った創作遊び作家で、パ
フォーマーでアリアーティストです。
そして、今回はもう1人ゲストとして、
NHKの「フックブツクロー」で大人気
の「けっさくくん」も一緒にでした。

そんな2人を加えた総勢20人でバリの
自然とオリエンタルな魅力を堪能すると
いうわけです。楽しくないはずがありません。
海ではイルカと直に触れられる体験。
恐る恐るイルカに触れると、何とも言え
ない、不思議な温かさを感じました。命
の温かみを感じる、貴重な体験でした。

次の日は新田さんが約30年交流している
歌舞団の村、タガス村。ここでは民族樂
器演奏や、圧巻のケチャの演舞、レゴン
ダンスを観賞という特別なワークショッ
プの他、たにぞうさん・けっさくくんと
のライブも大いに盛り上りました。

他にもバリサファリでゾウに乗ったり、
数々のパワースポットを訪れたりと、
盛り沢山の行程で、
あつという間の5日間
でした。



2019年1月4日（金）～6日（日）

アトリエ自遊楽校 スキーキャンプ。

山形蔵王スキー場

2019年1月4日、毎年恒例、
スキーキャンプに行ってきました。
今年は参加者75名、それにスタッフ
を合わせると総勢およそ、100名
もの大所帯となりました。

当日は晴れ男、新田どんのおかげ

で、雲1つないような晴天になりました。
アトリエのスキーキャンプが
特に凄いところは、初めてスキーを
滑る6歳の子も必ず滑れるようにな
って帰るところ。そのためにもそ
れぞのレベルに合わせたグループ
に分かれてスキーをするのですが、
それを総勢25人のスタッフがガッチ
リ！サポートします。そのサポート
チームのほとんどが、過去に参加し
ていたアトリエの卒業生たち。彼ら
はスキーの腕前は勿論、楽しさを知
り尽くしており、その上で一緒に遊
び、滑り、教えてくれます。夜は恒
例のスタンツ大会で、最高に盛り上
がります。最後はエキシビション。
各グループが滑り、それを全員で見
て、惜しげもない拍手と称賛の渦の
中に滑り込んでいきます。喜びと達
成感も相まって、楽しさは間違いな
く金メダル級です。何よりも総勢お
よそ100名の大所帯にもかかわら
ず、事故や体調不良が1人もいない
まま無事終了できたことは、ひとえ
に支えてくれたサポートスタッフたちのおかげです。

スキーキャンプの様子
の一部を、ユーチュ
ブで公開中！
ぜひご覧ください。

● URL:
<https://youtu.be/WYFqTuYZ-gA>



参加者・スタッフ勢揃い

2019年1月19日（土）

アトリエ自遊楽校 視察＆研修



アトリエ自遊楽校は、表現
創造空間。保育士、幼稚園教
諭など、子どもにかかる大人
の方々が、幼児の「表現」
活動について学ぶ場として最
適です。

1月19日（土）は、東京にあ
る造形表現に力を入れている
保育園から6名、仙台の保育
園から2名の方が、視察研修
にいらっしゃいました。絵を
描いたり、何かをつくったり
する「表現」は、自分の中か
ら外に出すこと（アウトプット）
ですが、そのためには、五感
を通した直接体験により、
たくさんの本物に出会い、「感
動」を入れること（インプット）
が大切。子どもが自らやりた
くなる導入について、子ども

が表現をするまでの過程につ
いて等、表現に関する話と最
新の教育についての話を、幼
稚園教諭更新講習の講師を務
めている松村が、スライドを
お見せしながら講義し、その後アトリエの幼児クラスの視
察、さらに質疑応答と全部で
2時間30分の研修でした。

熱心な先生からは、子ども
の様子を観ての質問や、使っ
ている絵の具や画材について、
年齢に応じた題材について、
言葉がけについて等、たくさん
質問をいただき有意義な研
修となりました。

みなさんもアトリエ自遊楽
校へ視察＆研修にいらっしゃ
いませんか？



ドキドキのミュージカル本番

子どもの笑顔・元気ミュージカル

2019年1月27日(日)

～「おー、サバンナ！」～

山元町 つばめの杜ひだまりホール

1月27日、日曜日。宮城県亘理郡山元町で、東日本大震災の発生以来続けてきた「子どもの笑顔・元気プロジェクト」として、現地の子どもたちと一緒に作り上げるミュージカル、「子どもの笑顔・元気ミュージカル」を開催しました。今回、出演者は過去最多の40名となり、チケットも用意した250枚はあつとう間に完売。大人気のステージとなりました。

今回は2人の強力な助っ人が加わりました。1人は東北学院大学の演劇部に所属する「コトエモン」。もう1人は白石こじゅうらうキッズランド・スタッフの「るーちゃん」。昨年、1年間のカナダ留学のために日本を離れることになった「ゆうゆうちゃん」に代わって、今回の舞台を大いに盛り上げてくれました。

「子どもの笑顔・元気ミュージカル」は文頭でも書いた通り、現地の子どもたちと作り上げるミュージカル。本番の1週間前に初めて会った子ども達が2日間のワークショップと、前日の練習合わせて3日間（合計で10時間）の練習で本番に挑むこと、これはまさに「奇跡」ですよね。

新田さんは、それについて、次のように言っていました。——「奇跡」の正体は「熱」である。必ずやりたいっていう熱き強い思い、その熱が「熱伝導」となって周りに伝わり、やがて大きくなったりとなる。これが「奇跡」の正体。子どもは、そのものが「小さい奇跡」みたいなものだから、大人より「奇跡」の予感を感じる。したがって、この3日間の間に「素敵で小さな奇跡」がたくさん生まれるのだ。もしこのミュージカルが映画になつたら、タイトルは『小さくて素敵なお奇跡達』に決定だ。——



みんなで集中して練習



本番の堂々とした表情



緊張の本番